

# 長尾福祉会報

平成22年4月1日  
第21号



のぞみ園 ひなまつり茶会 (2月28日)

## —長尾福祉会理念—

障害をもっている人も、もっていない人も、男も女も「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる社会づくりをめざします。

## もくじ

新年度を迎えて	2
常に利用者様の立場にたって	2
<b>デイサービスセンターゆたか</b>	
笑顔がご馳走	3
事業所の紹介	3
<b>のぞみ園</b>	
一位をとりました!!	6
もちつき	6
体育まつり	6
日帰り旅行	6
<b>ゆたか荘</b>	
開荘十周年によせて	4
職員紹介	4
ご家族様の声	4
人生ゆたか 老後ゆたか	5
歯科検診	7
実習を終えて	7
友へのステップ	7
みんなに感謝	7
新任職員紹介	8
ご支援ありがとうございました	8
テレビをいただきました	8
編集後記	8

発行●社会福祉法人長尾福祉会

発行者●村尾良明

ホームページURL <http://care-net.biz/37/nagaofukushikai/>  
のぞみ園 ●さぬき市昭和1032 / TEL 0879-5211727 / FAX 0879-5211728  
ゆたか荘 ●さぬき市昭和5624 / TEL 0879-236511 / FAX 0879-236565

## 新任職員紹介

 藤井 昭太郎 利用者様との関わりを大切に、笑顔で生活していただけるように頑張ります。	 佐藤 麻紀 利用者の方々の心に寄り添える職員になれるよう、頑張っています。	 角田 義郎 豊かな人間性や経験と一緒に接しながら学んでいきたいです。	 木村 佳央 利用者様との関係を大切に笑顔で過ごして頂ける様に頑張ります。	 山田 和広 利用者の方々の関わりを大切に、自分自身も成長できるように頑張ります。	 井上 貴美子 二月からのぞみ園の栄養士をしています。栄養士の仕事を目標として頑張ります。	 富田 かおり 利用者の方との関わりを大切に、楽しく生活して頂けるよう努めていきたいです。
---------------------------------------------------	----------------------------------------------	-------------------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------------------------------	-----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

## ご支援ありがとうございました。

百十四銀行様、国方恵子様、玉木精肉店様、山崎果店様、(株)共栄ファーマシー、岡島良一様、(有)アーンザ、小島幸一様、松原辰雄様、多田昭辰様、山下正幸様、小谷絹代様、渡辺康康様、森川康康様、松井博映様、真鍋映之介様、長尾ライオンズクラブ、入谷武子様、長尾会館様、白鳥憲一様、小林美代様、吉川徳良様、元山昌徳様、黒田昌徳様、恵生ノ子園様、香西恵子園様、香川共同募金会様、みどり園様、士幌町後援保健福祉課民生児童委員協議会様

東部養護学校様、かねとう歯科様、合田歯科様、佐藤喜美科様、中尾正俊様、高尾正俊様、のぞみ園保護者会様、奈良村富美史様、津村由美子様、岡本美史様、岡島マサ子様、福母小幼稚園様、聖小幼稚園様、前山小幼稚園様、大井小幼稚園様、コノ井小幼稚園様、豊考舞会様、さぬき民俗芸能保存会様、長尾警察署げんないクラブ、小倉富子様、かがりび小山富子様、青空クラン様、松川美千代様、関子メンタルクリニック様、砂川玲子様、羽鹿由紀様、鈴木木由紀様、香川県庁邦楽研究会様

ひなまつり茶会には多くの方々のご参加を賜りありがとうございました。

## 編集後記

広報誌は年に一度しか発行されないため、紹介したくても出来ないことが多くあります。そこでホームページにて日々の行事や活動状況等を徐々に更新していきたいと思っておりますので、そちらも是非ご覧ください。

宮下

このたびのぞみ園に香川県共同募金会様から「NHK歳末たすけあい義援金」配分でテレビをいただきました。大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。



# デイサービスセンター ゆたか

おかげさまで、デイサービスセンターゆたかも  
2月15日で4周年を迎えることができました。  
これも皆様方のご指導、ご支援の賜とっております。  
今後も、感謝の気持ちを胸に、又、初心を忘れず、地域に密着した  
温かいデイサービスづくりを目指していきたく思います。



介護支援専門員を3人体制に  
しました。あらゆる相談に応  
じてまいります。

**事業所の紹介**  
**ゆたか荘**  
**居宅介護支援事業所**

事業内容

- 介護に関する総合的な相談援助
- 「介護認定申請書」等の申請代行
- 各種在宅福祉サービスや施設サービスの紹介

※訪問相談も行なっております。  
ご相談料金無料、居宅介護サービ  
ス計画書(ケアプラン)は介護保険  
で全額負担されます。

TEL 0879-23-6518

**事業所の紹介**  
**デイサービスセンターゆたか**

要支援から要介護の方を対象に  
食事、入浴、機能訓練のサービ  
スが受けられます。

事業内容

- 通所介護事業
- 介護予防通所介護事業

※預かりサービスも行っています。  
お問い合わせ

TEL 0879-23-6515

## 新年度を迎えて

のぞみ園園長 井上 ヲロミ

春の訪れと共に、のぞみ園は今年も恒例の「ひなまつり茶会」を開催する  
ことができました。開園以来十四回目となり、毎年快く出演していただいている  
県庁邦楽研究会の方々の琴と尺八の優雅な生演奏をBGMに、少し緊張した面  
持ちの利用者の方々のお点前やお運びも様になってきています。皆さんそれぞ  
れの役割を果たしたり、絵や書などの作品も見ていただき張り切って過した一日で  
した。いつも地域の方々、関係機関の方々、ボランティアの方々、ご家族の方々  
も大勢お越しいただき、楽しいひとときを過ごすことができました。今更乍ら  
皆様方に支えられていることを実感します。本当にありがとうございます。  
さて、当園は、ご存知の様に昨年三月に、障害者自立支援法の新体系に移行  
し、一年を経過しました。この間、日課や活動等の変更も余儀なくされ、利用者  
の方、職員共々多くの戸惑いや混乱があり、試行錯誤の連続でした。一方で移行  
したことにより目的をもって地域への移行に取り組み方向性が見えてきた方  
や、就労としての位置づけによって、ある程度仕事に対する意識が芽生えかけ  
ている様に感じられる方もいるのも事実です。  
今後の障害者施策の動向に関する懸念も大いにありますが、今年度の「目標と  
課題」を念頭にしつつ支援施設としての役割を確実に果たすよう努める所存で  
す。  
今後とも変わらぬご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### —22年度の目標と課題—

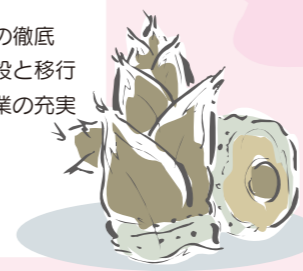
#### のぞみ園

##### 目標

- 利用者の意思及び人格の尊重
- 地域移行及び就労へのとりくみ
- ゆたか荘との連携

##### 課題

- 各事業の円滑な実施と経営の安定化
- 的確な個別支援計画の作成と実施
- リスクマネジメントの徹底
- グループホームの増設と移行
- 児童デイサービス事業の充実
- 相談支援事業の充実



## 常に利用者様の立場にたつて

— 十周年の想い —  
特別養護老人ホームゆたか荘 施設長 朝倉 裕子

♪ 菜の花はばたけに いりりうすれ  
見渡す山のは かすすみ深し  
春風そよぶく 空を…

(おぼろ月夜)

日本には歌い継がれている唱歌、童謡がたくさんあります。子供の頃に習った歌は、テンポや歌詞が記憶の奥底に刻まれ、昔ののどかな風景とともに日本の四季の素晴らしさが脳裏によみがえってきます。認知症のあるお年寄り様も、歌い出しと一緒に歌うだけで、目を輝かせながら続きを歌われ、周りの方の手拍子でいつの間にか大合唱です。ゆたか荘のホールには、いつも歌や笑い声が響き、この和やかな空気の中で、もう一つの我が家として、私の心も癒されています。

「人生ゆたかに」老後ゆたかに「長寿を支えるゆたか荘」として、多くの地域の皆様のご支援と関係者の方々のご協力を賜り、お蔭様で開荘十周年を迎えることができました。この十年という節目を迎え、職員研修の充実はもとより、利用者様のさらなる生活の質の向上にも力を入れていきたいと思っております。  
一人ひとりを大切にしたい支援、「今買物に行きたい」「今散髪がしたい」等、今の想いにすぐに応えられる環境づくり、常にサービスを受ける方の立場にたつて、日々の楽しみや生きがい実現のために、ご本人の自己決定に基づいたケアや余暇活動の支援をしていきたいと思います。また、安心して生活できる場として、清潔で快適な環境維持、季節感を大切にした食事の提供を心がけ、これからも皆様方から信頼されるゆたか荘でありたいよう努力してまいります。

### —22年度の目標と課題—

#### ゆたか荘

##### 目標

- 地域への福祉活動
- 一人ひとりの人権を尊重し、利用者様の希望を優先したサービスの提供
- ご家族との交流・連携

##### 課題

- 家族会の充実
- 職員研修の充実
- 他職種との連携
- 介護職場のキャリアパスの構築





# ゆたか荘

## 開荘十周年によせて

長尾福祉会 理事長 村尾 良明

介護保険制度の発足十年、このときから老人福祉の環境は大きく変化してきました。介護保険料の徴収は、将来おとされるであろう介護を約束するものであり、また介護を受ける権利でもあります。このことは、必然的に介護の場所、方法、種類等を明らかにして、その利用に供しなければなりません。制度は、施設介護と在宅介護について、その細則が示されているところがあります。

期を同じく開設した特別養護老人ホームゆたか荘は、制度施行に当たって、その受け皿となるべく施設が当地域にはなく、地元関係者の協力と行政当局の支援を受けて開設しました。長尾福祉会は、平成7年に地域福祉の拠点づくりを目指して設立し、平成8年に開設した障害者施設のぞみ園を原点到、介護老人福祉施設、居宅介護支援センター、老人デイサービスセンター等老人福祉サービスの拡充に努めてまいりました。この間、制度施策の見直しはあったものの福祉事業の本質とそれを運営する理念は変わるものではありません。このことを、そこに携る人たちが認識し、熱意を持って仕事にあたるのが福祉事業運営の大きな支えとなります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 十周年祝賀行事

三月一日、ゆたか荘開荘十周年記念行事が行われました。さめき民俗芸能保存会様をお招きし、利用者の方々と一緒に盛大にお祝いをしました。



### 仕事を通じて感じること

私のような業務内容は、施設運営・管理に関する事務・会計処理等全般です。利用者様と直接的な関わりを持つことが少ない分、直接関わる他の職種の職員をサポートする間接的な関わりによって、施設全体の円滑な業務遂行に貢献していきたいと考えています。そして、業務を通じて利用者様やそのご家族様から「ありがと」の一言を頂いた時、本当にこの仕事をやってきて良かったと思うことが出来ます。

ゆたか荘開荘十周年という節目にあたり、これからも初心を忘れず、頼りにされる、縁の下の力持ち、を目指して頑張ります。

事務主任 宮下 和孝

### 施設の窓口について

ゆたか荘にて、生活相談員の任命を受け、早や2年となりました。生活相談員は施設の窓口的な存在であり、また外部の協力機関の橋渡的な存在であると感じています。私は主にショートステイを担当しており、日々、地域のケアマネジャーよりショートステイ利用希望者の相談を受けています。

その相談内容も様々で、ご本人様や相談者の状態、家族構成や家庭状況、はたまたお住まいの場所等にもよります。どの相談ひとつとっても同じケースはありませんが、根底には「困っている」、「助けてほしい」という声があることは間違いありません。

ゆたか荘のショートステイの利用枠にも限りがありますので、すべての御希望にお応えする事は難しいかもしれません。ですが、出来る限り、皆様のお声を大切に、お応え出来る様に努力して参りたいと思います。

生活相談員 村尾 昌昭

### ご家族様の声

#### ともしび

ご家族 安松 登志夫

喜れる山道、彼方に灯りを見た時の胸話まるような思い。父がお世話になった時のことは忘れ得ません。ただ、家族から離れることが最良の選択だったのか鬱々の始まりでもありません。それから少し後、くもん学習の合間に父が震える手で私の名前を書いた時、そんな胸のつかえが霧散したのも思い出です。明るい笑顔の人を見る時も、そっと目を伏せる人を見る時も感じます。此処は色んな人生の集合体、まさに屋根の下の地域コミュニティです。父や入所の皆さん、家族や職員の方皆さん、これからも彼方の灯火を目指して共に歩みましょう。よろしくお願ひいたします。

ご家族 安松 登志夫

## 人生ゆたか 老後ゆたか

一日々の楽しみや 生きがい実現のため

へぎ餅

2月3日節分豆まきを行いました。職員扮する鬼が登場すると大きな声で、「鬼は外」と何度も豆を投げる方、また少しだけ鬼に投げた後は食べる方と、個々のスタイルで厄払いをして楽しんで頂けました。(矢武)

喫茶

昔ながらの七輪で餅の焼きあがり待つ利用者様の嬉しそうな表情。中には火加減の調整を下さる方もいて、「上手に出来とる」「おいしいなあ」と、食べやすい大きさに切られたへぎ餅に皆様満足されていました。(松内)

節分

習字

年明けに書初めを行いました。筆で書く事を苦手だと話す利用者様も、一文字を一筆で書くことと大胆な運筆で筆使いが素晴らしくとても驚きました。一人ひとりの表現力が面白く個性ある作品が仕上がりました。(大山)

ショッピング

ゆたか荘では、毎月希望を聞きながらショッピングドライブに出かけています。利用者様は広い店内を職員と回りながら、ご自分の必要な物をいきいきとした表情でたくさんある商品の中から選び購入されています。(白井)

## ひなまつり

2階東サービスセンター介護スタッフ 蓮井 亜季子

毎年3月3日に、ゆたか荘では、桃の節句を祝うひな祭り茶会が行われています。今年も段飾りのひな人形を囲み、抹茶と和菓子を美味しくいただきました。抹茶の香りがたち始めることにも、利用者様達は自分達の子供の頃を振り返りながら、思い出話に花を咲かせていました。利用者様からは笑顔がこぼれ、職員とともにひな祭りの歌をうたい、楽しくのんびりした時間を過ごされていました。外はまだ肌寒く春にはまだ少し遠いですが、オープンスペースには「足早く春がやってきた様です。」



# のぞみ園

一位をとりました!!

さめぎええもん福市

生活支援員 山下 由味

パン部門一位のぞみ園、シナモンロール！聞いた瞬間ワァーと歓声をあげました。十月十七日、綾歌総合文化会館でさめぎええもん福市が開催され、販売と各施設自信商品の審査会がありました。展示部門で三位、パン部門でカレールパン三位、シナモンロール一位と輝きました。利用者さんもステーションに立ち商品のPRをするなど新しい経験もできました。パン作り始めて二年半、技術と味を認められ今後の励みとなった参加でした。



▲シナモンロール(右)  
カレーパン(左)



さめぎええもん福市に行きました。おいしいパウンドケーキ、パン、クッキーをうりました。楽しかったです。  
小谷 裕子



もちつき

生活支援員 宮下 義之

十二月二十三日、もちつきが行われました。地域からの参加も多く、特にさめぎええもんの方からは十二名の方がボランティアとして参加下さいました。毎年恒例の行事であり、利用者・保護者共に手慣れた様子で餅を搗いたり、丸めたり。大勢の人が一つの場所で開催、年越しの行事を味わうことができました。

体育まつり

生活支援員 橋本 光佐子

三月十二日、高松市総合体育館にて福祉協会主催の第三回体育まつりが行われました。のぞみ園からは十一名の利用者が参加し、玉入れ・綱引き・パン食い競争等の競技を楽しみました。そして今回、アトラクションとしてのぞみ園がエイサーを披露しました。緊張しながらも、楽しんで踊り、利用者は充実感いっぱいでした。



## 実習を終えて

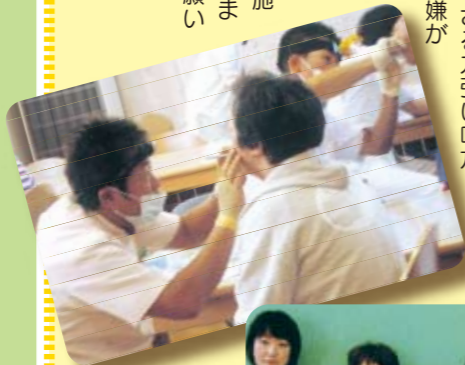
高松短期大学 橋本 睦季

私にとって、のぞみ園での実習が初めての実習でした。そのため大きな不安を持ち、とても緊張していました。

しかし、利用者の方や職員の方と関わっていく中で、一人ひとりの個性を理解したり、温かさに触れることができました。それからは毎日楽しく感じる事ができたと思います。利用者の方から声を掛けていただくこともあり、とても嬉しく感じました。

また、この実習ではたくさんのことを学びました。私の目指している保育士にも言えることもたくさんありました。利用者の方一人ひとりの能力を理解・把握することも、不安定になってしまう原因を未然に取り除いた環境を構成することも、とても大切だと感じました。

この実習で学んだことを、これからも生かしていけるよう努力していきたいと思えます。充実した二週間をありがとうございました。



## 歯科検診

看護師 吉森 法子

頼もしい支援者の皆様をご紹介します。かねと歯科様、佐藤歯科様、合田歯科様です。年2回歯科検診のため、ボランティアで来て頂いています。口腔内チェック・ブラッシング・アドバイス・軽度歯石除去処置等を行なって頂き、通院フォローもして下さる力強い味方です。開口せず検診を嫌がる方へも、根気強く接して頂き今では、玄関へお出迎えに行く程の信頼関係です。恵まれた環境下で実施できる事を感謝しています。今後とも長くお願いします。



## 友へのステップ

児童サービスボランティア 羽鹿 由紀

ダウン症児誕生の可能性大。一度はその子を育てる覚悟をした私。幸い娘は人一倍健康な子として誕生しました。娘の為に費やすはずだったその時間を、子供達の為に使う事が出来たなら…。そんな私の身勝手な想いを受け止めて下さったのが冬木さんでした。週一度参加が始まって二ヶ月余りは、ただ参加しているだけ。でもその間個々の特性や運動機能を知る内、遊びから運動が進む様に…。半年後にはアドバイスも頂き、アニメ主題歌のダンスも楽しめる様になりました。「羽鹿さんが来るよ。」の一言でいつもより早く課題を終えて待つてくれているとの言葉に、通所する足取りはステップに！出来なかった事が今日は出来る。喜びは他人事ではありません。のぞみの子供は私の大切な友。身勝手ですがその友が居る限り、私のステップは止まりません。



## 日帰り旅行

生活支援員 秋友 誠

十一月三日、神戸フルーツフラワーパークへ行ききました。今年度より観光バス3台を貸切り、のぞみ園全体での移動となりました。みなさん、綺麗な草花をみる事ができ大変よろこばれていました。また、多くの保護者の方に参加していただきありがとうございました。



## みんなに感謝

保護者 安西 強

光子は平成九年十二月からのぞみ園にお世話になってます。二十才の頃までは自宅を過していましたが家庭の事情で見る事が出来なくなり三木町役場に相談に行き、近くに開園しわずか一年と数ヶ月と言わずばらしい施設があるのを知り、ほとんど待つこともなく入所出来ました。光子は生れて九ヶ月になる前、急に40度をこす高熱が出てひきつけをおこし右半身がマヒし、声も出なくなり、そのせいかよく怒り家の建具のガラスを何度割ったかもしれません。でも入園してからしばらくするとあまり怒ることもなくなり今はすっかり精神状態も安定しており、これも支援員さんはじめ関係者の方のおかげだと思ひ、とても感謝しています。今ではのぞみ園でいろいろな行事に娘なりにがんばっているようです。週末帰省では土曜日の夕食後むかえに行き、月曜日朝食前に連れていって頂きます。又園の行事には出来るだけ参加させて頂きたいと思っています。これからも娘ともども宜しくお願いします。

